

市街地に囲まれた孤立丘陵（福井市足羽山）における オオルリ *Cyanoptila cyanomelana* の巣立ち雛の記録

出口 翔大*

The Record of fledged chick of Blue-and-white Flycatcher in Mt. Asuwa, Fukui city.

Shota DEGUCHI*

(要旨) 2020年6月18日に福井県福井市の足羽山の南東部の車道上でオオルリ雄幼鳥1羽が保護された。本個体は形態的な特徴から巣立ち後間もないと考えられた。これまで足羽山において本種の繁殖記録はなかったが、本個体は移動能力が極めて乏しいと推測され、足羽山における本種の繁殖が示唆された。

キーワード：孤立丘陵，市街地，幼綿羽，繁殖可能性，6月

オオルリ *Cyanoptila cyanomelana* はスズメ目ヒタキ科に属する渡り鳥で、日本には夏鳥として全国に渡来し繁殖する（日本鳥学会，2012）。福井県内においても山地で普通に繁殖していると考えられている（福井県自然環境保全調査研究会，1998）。福井市中心部に位置する足羽山は、周囲を市街地に囲まれた面積115ha、標高116.4mの孤立丘陵で（梅田ほか，1989）、西部はコナラ・ソヨゴ林が東部はモミ・スダジイ林が優占している（中村・吉澤 未発表）。足羽山ではこれまでにいくつかの鳥類調査が行われ（内山，1990；柳町，2006，2014；出口，2018），100種類以上の鳥類が記録

されている（出口 印刷中）。オオルリは春季および秋季に記録され（出口，2018），繁殖の可能性が示唆されていたものの（柳町，2006），これまで確実な繁殖記録はなかった。今回，足羽山南東部で，幼綿羽の残る本種の雄幼鳥1羽が保護されたので報告する。

日時・場所：

2020年6月18日10時55分頃，散策中の一般男性により足羽山南東部に位置する朝日山不動寺から藤島神社までの車道上（36°03'20.4"N，136°12'37.2"E付近；図1）で発見され，福井市自然史博物館に持ち込まれた。朝日山不動寺にはかつての笏谷石採掘跡の大規模な露

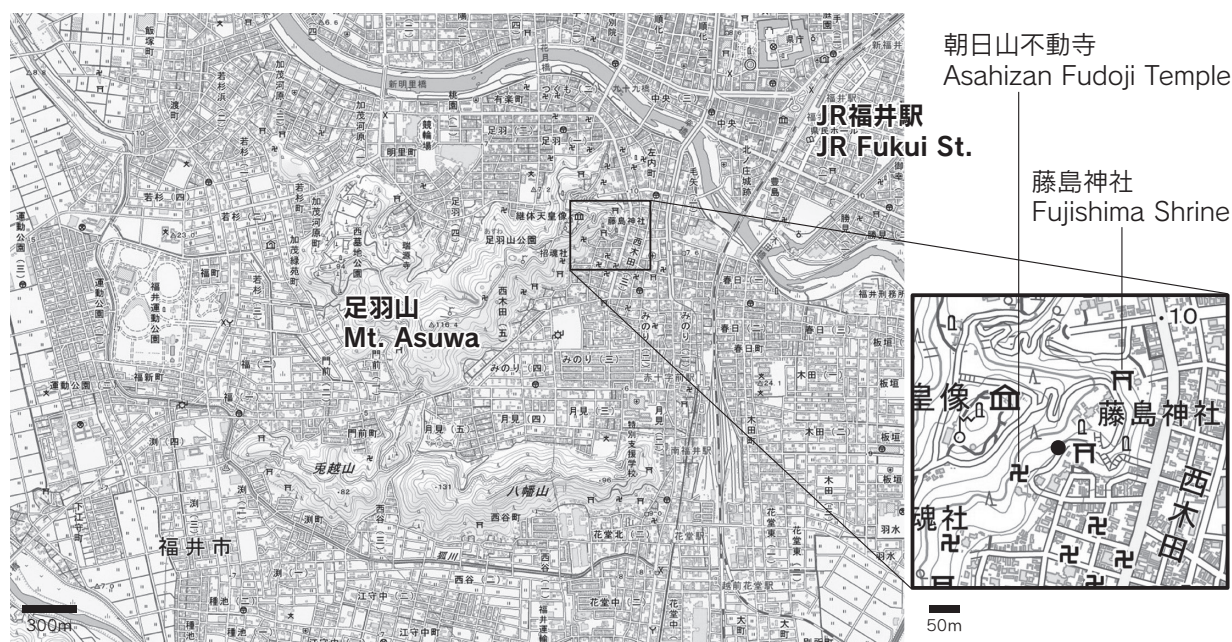


図1. オオルリの巣立ち雛が保護された地点（●印）。国土地理院地形図を加工して作成。

Fig.1. Black circle shows that protected point of chick of Blue-and-white Flycatcher. Map was created by manipulating the map provided from Geospatial Information Authority of Japan.

*福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上町147

*Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan



図2. 2020年6月18日足羽山南東部で保護されたオオルリ雄の巣立ち雛（撮影 出口翔大）。

Fig.2. A fledged chick protected on South-eastern part of Mt. Asuwa on June 18, 2020 (Photographed by S Deguchi).

頭が見られ、周囲はモミ・スダジイ林が優占している（中村・吉澤 未発表）。保護個体は外見の特徴から巣立ち雛だと判断された（詳細は後述）。一般的に雛は巣立ち後も親鳥からの給餌を受けるため（日本鳥類保護連盟，2002），すぐに筆者が発見場所へと連れ戻し、付近の低木に止まらせた。該当個体は保護された時から「ヒィッ、ヒィッ」と一定間隔で鳴いていた。筆者は該当個体が警戒しないように一時的にその場を離れた。2時間後に同地に確認しに行った際、該当個体は発見できなかった。

形態に関する記述：

スズメ *Passer montanus* 成鳥より小さい体サイズで、頭および上面は黒色で茶褐色の斑があった（図2）。胸は茶褐色で黒褐色の縦斑があり、腹はやや淡褐色であった。頭部や上面には幼綿羽が認められた。小・中および内側の大雨覆羽はいずれも黒く先端が淡褐色であったが、外側1～2枚の大雨覆羽は外弁が光沢のある青白色をしていた。初列覆羽および内側の初列風切、次列風切、三列風切の外弁も同様であった。嘴は上下ともに黒みがあり、嘴の基部は淡い黄色をしていた。足

表1. 足羽三山（足羽山と近隣の八幡山および兎越山）における2019年および2020年のオオルリの春季観察記録.

Table 1. Observation records of Blue-and-white Flycatcher in 2019 and 2020 spring in Mt. Asuwa, Mt. Hachiman and Mt. Osagoe, which are located in close to each other.

年 year	月日 date	観察場所 location	備考 note
2019年	05月03日	八幡山 Mt. Hachiman	－
	05月08日	足羽山 Mt. Asuwa	平和の塔 Heiwa-no-tou
	05月12日	足羽山 Mt. Asuwa	平和の塔 Heiwa-no-tou
2020年	04月29日	足羽山 Mt. Asuwa	三段広場 Sandan-hiroba
	05月01日	足羽山 Mt. Asuwa	NHK鉄塔南下部斜面 NHK's steel tower
	05月10日	足羽山 Mt. Asuwa	招魂社南斜面 Shokonsha Shrine
	05月15日	兎越山 Mt. Osagoe	－
	05月27日	足羽山 Mt. Asuwa	朝日不動寺周辺 Asahi-fudou Temple

は淡い肉色で、尾羽は1枚も生えていなかった（図2）。
種を同定した根拠：

該当個体には茶褐色の斑があり、大雨覆羽の一部と風切羽の外弁が青白いこと（環境省，2009），そして幼綿羽が認められたことから（ギル，2009），オオルリ雄の幼鳥であると考えられた。本種の雌では年齢に関係なく大雨覆に青色みは認められず，よく似たキビタキ *Ficedula narcissina* の幼鳥は全身がより淡色で，性別にかかわらず雨覆羽や風切羽に青色みは出ない（環境省，2009）。幼綿羽は生後1～2週間で抜けること（ギル，2009），オオルリは約12日間で巣立つことから（中村，1997），該当個体は巣立ち直後の雛であると考えられる。雛の尾羽はたいてい巣内育雛期に生え始めるが，該当個体には一枚も尾羽が生えてなかった。そのため，何らかの理由で尾羽が抜けてしまったものと考えられる。

移動能力が極めて乏しいと考えられる該当個体が足羽山で保護されたことは，足羽山におけるオオルリの繁殖を示唆している（全国鳥類繁殖分布調査事務局，2015）。山口県の人工巣台で繁殖した事例では6月2日に産毛のわずかに生えた巣内雛が観察されており（小林ほか2001），本個体の確認された6月18日はオオルリの巣立ち日の前後として不自然ではない。オオルリは低山から亜高山帯の常緑樹林や落葉広葉樹林，針広混交林など様々な樹林で繁殖し（藤巻，2007），水域周辺の崖などに好んで営巣する（中村，1997）。足羽山において水域は天魔池などわずかにしかないものの，本年（2020年）は4月29日に初認されて以降，5月27日まで雄のさえずりを記録した（表1）。2019年の確認記録は5月3日から5月12日にかけてで，今年の確認期間に比べて短い。この確認期間の長さは当地における本種の繁殖を確定できるものではないが，本報告における巣立ち雛の発見と合わせて，当地における本種の

繁殖を示唆するといえよう。本事例が足羽山におけるオオルリ繁殖の偶発的なものか定着であるかを判断するためにも，今後の本種の動向を注視していく必要がある。

謝 辞

（公財）山階鳥類研究所の森本元博士には原稿を読んでいただき，適切なご指摘をいただいた。また環境省佐渡自然保護官事務所の岡久雄二博士には種の識別についてご教示いただいた。ここに記して御礼申し上げます。

引用文献

- 出口翔大，2018，足羽三山における鳥類群集の季節変化（2018年）。福井市自然史博物館研究報告，（65），47-56。
藤巻裕蔵，2007，北海道中部・南東部におけるキビタキとオオルリの繁殖期の生息状況。Strix，**25**，17-25。
福井県自然環境保全調査研究会編，1998，福井の鳥とけものたち。福井県，222p。
ギル，F.B.，2009，鳥類学。新樹社，743p。
環境省，2009，オオルリ（*Cyanoptila cyanomelana*）キビタキ（*Ficedula narcissina*）識別マニュアル。環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室，<https://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort3/oruri.pdf>（参照日2020年11月25日）
小林繁樹・井上八郎・弘中毅，2001，人工巣台に営巣したオオルリ。Strix，**19**，191-195。
金剛晴彦，2019，福井市足羽山の自然マップ活用状況。福井市自然史博物館研究報告，（66），81-84。
中村登流，1997，オオルリ。樋口広芳・森岡弘之・山岸哲編，日本動物大百科4鳥類Ⅱ，平凡社，120-121。
日本鳥学会，2012，日本鳥類目録改訂第7版。日本鳥学会，438p。
日本鳥類保護連盟，2002，鳥630図鑑。日本鳥類保護連盟，420p。
内山正彦，1990，福井市足羽山の鳥類について。福井市立郷土自然化学博物館研究報告，（37），81-90。
梅田美由紀・長田 勝・阪本周一・高島市郎・林 幸子，

1989, 歩いてみよう－足羽山－自然観察ガイドブック第1集, 福井市自然史博物館, 30p.

柳町邦光, 2006, 足羽山鳥獣保護区の鳥類相について, 福井市自然史博物館研究報告, (53), 67-72.

柳町邦光, 2014, 2013年の足羽山自然公園における鳥類相, 福井市自然史博物館研究報告, (61), 29-41.

全国鳥類繁殖分布調査事務局, 2015, 全国鳥類繁殖分布調査 調査マニュアル, 全国鳥類繁殖分布調査事務局, <https://bird-atlas.jp/bba-man.pdf> (参照日2020年11月25日).

The Record of fledged chick of Blue-and-white Flycatcher in Mt. Asuwa, Fukui city.

Shota DEGUCHI

Abstract

A male chick of Blue-and-white Flycatcher was protected on June 18, 2020, on the roadway southeast of Mt. Asuwa, Fukui. This individual was seemed fledged chick from the morphological characteristics. There had been no breeding records of this species in Mt. Asuwa. It was suggested breeding of Blue-and-white Flycatcher in Mt. Asuwa as this protected individual was presumed to have very poor mobility.

Key words

isolated hill, June, natal down, possibility of breeding, urban area